

平成27年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	郡上市大和町	学校名	郡上市立大和南小学校			
校長名	三森由起枝	対象学年	全校児童	人数	101人	
活動名	古今里子学習 薪能(5・6年) 歴史(6年) 川(4年) 高齢者交流(5年)・短歌(全校)		時間数	4・5・6年70時間 1・2・3年10時間	継続年数	6年生(6年) 4・5年生(9年) 全校(27年)
題材	① 自然環境(山野・河川・動物・植物・その他) [ ] ② 歴史(出来事・史跡・先人・その他) [東氏・古今伝授 ] ③ 文化(芸能・芸術・民話・風習・その他) [薪能・短歌 ] ④ 地場産業(農業・水産業・伝統工芸・その他) [ ] ⑤ 絆を深め、よりよいふるさとをつくる活動 [高齢者交流 ] ⑥ その他(郡上かるた ) [ ]					
複数年継続するための工夫改善	・薪能実行委員会や公民館の支援を受け、薪能の学習を継続することができる。 ・フィールドミュージアムや漁業協働組合の方の協力を得て、学習をすすめることができる。お礼の手紙や短歌を送り、関係を継続している。 ・短歌指導年間計画をもとに、月ごとの短歌づくりを実施している。また、公民館活動やPTA活動や外部講師と連携した短歌学習を位置づけている。					
<p>1 ねらい</p> <p>○地域の人・歴史・自然・文化を知り、よさに気づき、それらにかかわる人々の思いや生き方に触れることを通して、地域への愛着と誇りを持つことができる。</p> <p>○自分達との関わりを考えたり、今後の地域について考えたりできる。</p> <p>2 活動の概要</p> <p>【短歌】全校児童 古今伝授の里づくりの一環として、週1回、帯時間に短歌づくり等を行っている。古今里子の時間には、地域の短歌会の方を講師に、短歌学習を行った。 また、人権七夕には、親子でぼかぼか短歌を、夏休みには健康短歌づくりを行った。</p> <p>【東氏の歴史】6年生 東氏の歴史と四十年前の「古今伝授の里づくり」の取組を調べ、歴史ある地域の人々と共に生きる方法や、町の未来について考える活動を行った。</p> <p>【薪能】5・6年 明建神社の薪能では毎年東氏を主人公にした「くるす桜」が演じられ、冒頭に児童も謡いや仕舞を披露した。</p> <p>【交流活動】5年生 高齢者施設を訪問し、お年寄りとはゲームや肩たたき・会話で交流を深めた。</p> <p>【地域の川】4年生 長良川への鮎の放流や、カワゲラウォッチング、長良川の生き物調べを行った。また、昔の川の様子や川遊びについて、川の達人から学んだ。</p> <p>【郡上かるた】1～3年 生活科や休み時間に郡上かるたに親しみ、親子かるた会を実施した。1月には、1～3年児童だけによる郡上かるた大会を開催予定である。</p>						



### 3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子

#### 【短歌】

長良川鉄道の駅に児童の短歌を掲示する短歌コーナーの設置、薪能開催場所での短歌掲示、公民館祭での短歌披露や学校だよりでの短歌紹介を通し、古今伝授の里であることを広く知っていた。

地域講師を招いたり、公民館主宰の短歌学習会に参加したりし、より豊かな表現ができるようにした。

#### 【東氏の歴史】

地域の施設のフィールドミュージアムの職員の方に現地で説明を受けたり、学校で指導していただいたりした。

#### 【薪能】

明建神社の薪能と公民館祭で謡いや仕舞を披露し、地域の方から喜ばれており、短歌と能の学校として認められた。

#### 【交流活動】

デイサービスを利用されているお年寄りを複数回訪問し交流した。5年生は交流の様子や感想を、学習発表会で劇風に演じ、地域の方にも観て頂いた。今後は、手紙交流や育てた花のプレゼントを贈る予定である。

#### 【地域の川】

地域の漁業協働組合の方に、鮎の話や放流についてお聞きした。地域の川遊びの達人のお話を聞き、川のよさを学習した。

#### 【郡上かるた】

公民館でもかるた大会を企画してくださり、半数以上の児童が参加し、かるたに親しんだ。

### 4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等）

- ・短歌の発信や薪能の謡披露をすることで、地域の方から認められ、自分に対する自信が育った。
- ・「古今伝授の里」と言われる理由や、今、自分たちが短歌や能に取り組むことが、「古今伝授の里」づくりにつながっていることを実感した。
- ・「短歌のまちづくりを」という昭和の人々の強い思いや、地域の方々の手でミュージアムの建設が始まったことを知り、子ども達は大きく心を動かした。歴史ある自分たちの町を誇りに思い、未来につなごうとしている人々に心を寄せ、大和の未来を考えるようになってきた。

#### <児童の作文から>

昔の人が、古今伝授の里大和を有名にしたいと、芝生や木を一つ一つ植え、薪能の行事を考えたので、大和も明るくなってきました。私も大和を大切にしようと思いました。自分にできることを考えて、昔の人たちのように努力したいです。

- ・地域の川のよさを実感し、美しい川楽しみを与えてくれる川を大切にしようとする意識が高まった。

#### <児童の作文から>

郡上の川には夢や楽しいことがたくさんあります。ぼくは、ヤマトビゲラを見つけたりアユにさわったりできて幸せだと思います。だけど、川を汚したりするとアユもアマゴもいなくなり、泳ぐ人もいなくなるので、一人一人が意識をすればいいです。